

新技術等登録申請用紙

受付 No.※1	ME270217-61		申請年月日※1	平成27年2月17日		
開発者等	会社名	株式会社クエスト		担当部署		
		鳥取県米子市車尾南1丁目4番27号		担当者	森下 博	
	TEL	0859-33-0106		FAX	0859-33-0313	
	E-mail	quest-1993@siren.ocn.ne.jp		URL:		
	共同開発の会社名	(株)KCL 太平ビルサービス(株)		開発年月	2007年10月1日	
新技術名称	すべらんぞ〜FF-1500 排水型薄層カラ―防滑舗装工法					
概要	<p>本技術は、舗装路面に繊維が入った接着剤とセラミック骨材を混合接着させるもので、厚さは2mm程度の薄層舗装です。</p> <p>従来工法より、乾燥・養生時間が短く施工性にも優れています。路面での排水性を維持し、すべり抵抗値を高め、走行安全性を向上させるとともに、色彩によっても区別することにより安全で円滑な交通を促す排水型薄層カラ―防滑舗装工法である。</p>					
分類 (該当欄に○)	工法	施工機械	材料	製品		
	○		○			
新技術等の対象条件 (該当欄に○)	ア 県内に存在する本支店や製造工場により開発されたもの					○
	イ 主として県内産資材を使用し、県内に存在する製造工場により生産されたもの					
活用効果	比較する従来技術		従来の薄層カラ―舗装			
項目	活用の効果			比較の根拠		
機能性	(向上)	同程度	低下	別紙-1優れた防滑性と排水機能、目詰まりもない		
耐久性	(向上)	同程度	低下	6年間の実証としてひび割れ、はぐれ、めくれ一切問題無し		
施工性	(向上)	同程度	低下	従来の接着剤に比べ短時間で開放出来る		
安全性	(向上)	同程度	低下	別紙-2		
施工時の自然環境への影響	(低下)	同程度	増加	短時間で処理でき、交通規制を緩和できる。		
コスト縮減	(向上(58%))	同程度	低下(%)	サイクルコスト及びトータルコストの低減		
工程	(向上(%))	同程度	増加(%)	別紙-3		
施工実績 <small>(施工実績が多い場合は直近工事3件を記載し、その他は別添(任意仕様)とすること。なお、施工実績は、申請時点で完了している工事を対象とすること。)</small>	県内公共工事 3 件			県外公共工事 3 件		
	発注者名	工事名	工期	発注者名	工事名	工期
	鳥取大学医学部	浴室床防滑	2013年1月	UR都市機構兵庫	1Fエントランス防滑	2011年10月
	米子市	市庁舎連絡通路・階段	2014年8月	東広島市	八本松駅前通路	2014年9月
鳥取県	大山青年の家浴室	2014年12月	東広島市	八本松駅陸橋階段防滑	2014年10月	
国関係機関による技術審査証明や評価※2	制度名			証明機関		
	名称及び番号			証明年月日		
その他機関による証明や評価	制度名			証明機関		
	名称及び番号			証明年月日		
特許、実用新案	名称及び特許番号			取得年月日		
NETIS登録	名称及び登録番号			登録年月日		

特 徴			
<p>■長 所</p> <p>前例のない高耐久と排水機能を持った滑り止め工法。また、色彩にも特徴があり色弱の人の認識性も考慮している。除雪車やショベルローダー及びフォークリフトの爪が当たっても、大きく剥がれない。</p>			
<p>■短 所</p> <p>雨、雪や気温が5度以下では施工不可。</p>			
適用条件			
<p>■適用可能な範囲</p> <p>道路や遊歩道、コンクリート、鉄板、石板、タイル等。また、屋内の水が多い所や油を使う工場関係にも有効である。</p>			
<p>■適用できない範囲</p> <p>特に無し</p>			
留意事項			
<p>■設計時</p> <p>特にないが、改修工事などには下地処理が安価で出来たり、工事期間が短く出来る為、相談して下さい。</p>			
<p>■施工時</p> <p>下地がしっかりしていることが条件となる。施工については指定業者によるものとする。</p>			
<p>■維持管理時</p> <p>特に無し</p>			
従来技術との施工単価の比較			
<p>従来の薄層舗装は㎡当り9,500円程度(100㎡基準)ですが、当社の製品では、㎡当り20,000円である。つまり、簡単に計算すればイニシャルコストで2.1倍高くなります。しかし、従来の物では価格は安いですが耐久性は無く、すべり抵抗値も効果の持続がない。また、気温差でも剥離の影響が高いとのこと。(3カ月～6カ月または1シーズン：寒冷地での回答)結局、イニシャルコストが安くともサイクルコストまで計算すれば高い物に付いてしまう。当社は、サイクルコスト及びトータルコストを重視して、より良いものを考え世の中の役に立ちたいとの思いで開発した。</p> <p>・従来品の耐用年数を2年とし、10年間同様の製品を施工した場合 $¥9,500/㎡ \times (10 \div 2) = ¥47,500/㎡$</p> <p>・本製品の耐用年数を10年以上とし、10年後のコストを算出した場合 $¥20,000/㎡ \times 1 = ¥20,000/㎡$</p>			
<p>施工歩掛</p>	<p><input type="checkbox"/> 県土木工事標準積算基準書 <input type="checkbox"/> その他公的機関が制定した基準 (基準名:)) <input type="checkbox"/> 協会歩掛(協会名:)) <input type="checkbox"/> カタログ歩掛、 <input type="checkbox"/> 無し</p>	<p>材料単価</p>	<p>■掲載あり (<input type="checkbox"/> 建設物価、<input type="checkbox"/> 積算資料) <input type="checkbox"/> 無し</p>
残された課題と今後の開発計画			
<p>硬化時間をもっと短くとの要望有り。</p>			
添付資料			
資料-1 カタログ	資料-5 コスト縮減	資料-6 施工実績	資料-7 薄層カラー舗装試作報告書
資料-2 機能性			
資料-3 ファインファイバの安全性について			
資料-4 施工マニュアル			

※1 は記入しないでください。

※2 新技術情報提供システム(NETIS)の場合、事後評価を受けたものが対象となります(登録のみは対象外)。

※ 記入欄が不足する場合は、別紙として添付してください。